

全久院報

松本市深志 3-7-50 電話 0263-36-3211

全久院令和の大改修 9月本堂の改修始まる

の庫裡は次の機会へ順延となります。現在かわかみ建築設計室が詳細な設計に入っており、見積もりを取る段階に入っています。

屋根や柱はそのまま残します。明治30年に棟上げをした時の地盤基礎工事は現在の技術に負けないほどのしっかりしたもので、よどみが少ないとのこと、本堂の傾きを直し、地盤をコンクリートで固め、壁や床を新しくします。オレンジ色の控室部分は本堂の傾きを直すために一時解体してはずします。

また最近の猛暑に備えエアコンを入れます。また古くなり耐久性がない部分などを取り替えます。9月に工事を始め、来年4月には完成予定です。



皆様の寄付などのご協力を戴き一期工事(離れ)、二期工事(玄関・勝手など)が終わり、いよいよ本堂の改修工事が始まります。下の図の紫色部分の本堂、緑色の開山堂、青色の納骨堂トイレ、オレンジ色の控室が今回の三期工事となります。黄色

また現在の収支状況の概算です。

支出	一期工事	47,300,000	収入	寄付	125,844,000
	二期工事	99,990,000		護持会	10,000,000
	設計料	12,650,000		篤志寄付	10,000,000
	付帯工事	19,533,000		借受金 全久院	11,982,000
		179,473,000		住職	21,647,000
					179,473,000

上記の収支状況ですが、寄付は7月現在465軒よりご協力を戴いております。全檀家数の約7割に当たります。まだご協力いただいていない皆様のご協力をせつにお願い申し上げます。また、中間監査を受け、皆様に正式に報告できるよう準備しています。8月24日(日)11時より臨時護持会総会を開催し、中間決算報告と、本堂改修工事の説明をいたします。是非お集まり

いただき、皆様のご意見を頂戴したいと存じます。

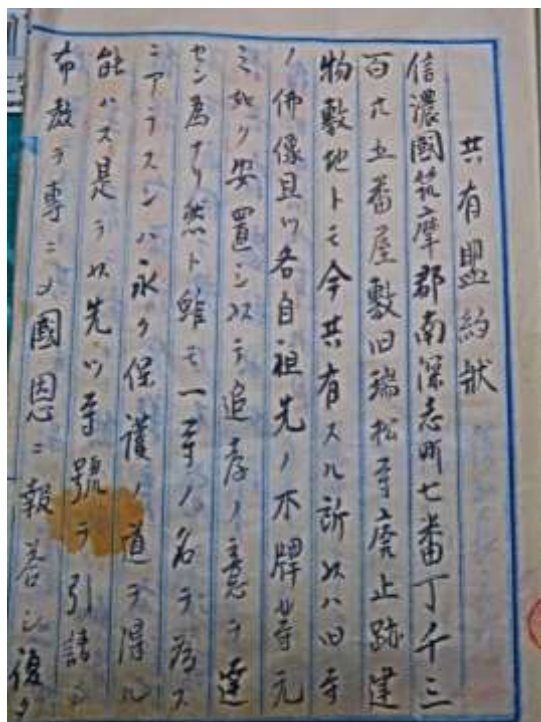
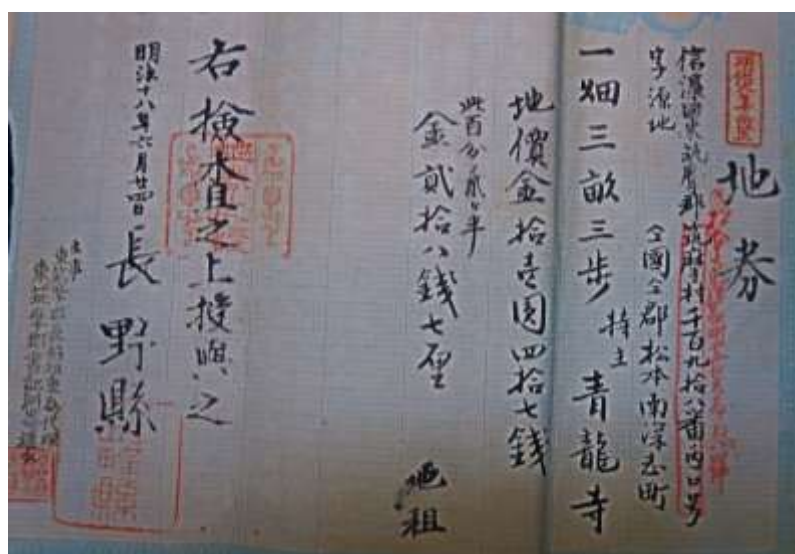
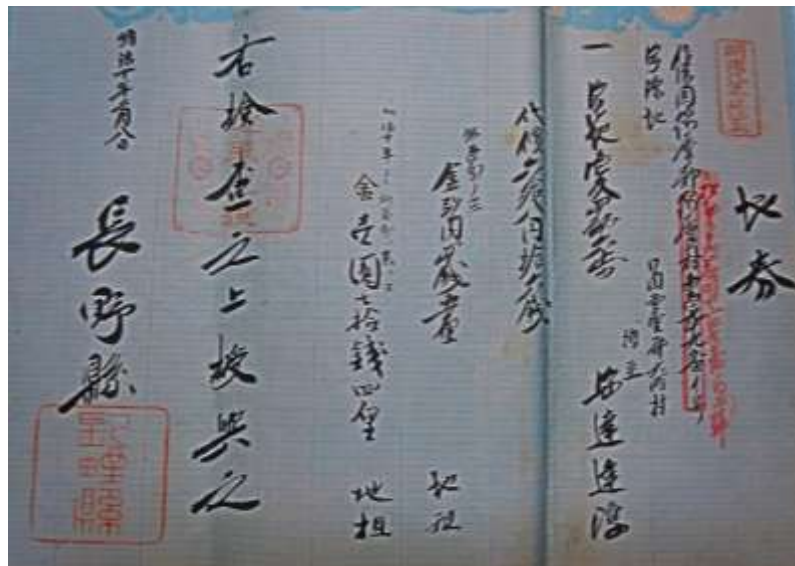
全久院の歴史

後藤先生によって整理していただいている文書の中からも明治10年頃からの、全久院が再建される資料が見つかっています。詳細は後藤先生のレポートで報告いたしますが、分かる範囲で書類などをご覧ください。

右の書類は明治10年2月8日に長野県より発行された地券です。安達達淳師の名前が記されています。また次の書類は明治18年6月24日に長野県より発行された地券です。青龍寺の名前が記されています。寺が存在し、宗教活動が進んでいる様子がうかがえます。

左の書類は「共有盟約状」と記されています。全久院を復興しなくてはならないとする、その意義を書き連ねた書類で、明治9年9月に247名の署名とともに作成され、明治13年に東京上等裁判所に提出されています。

内容は廃仏となった旧瑞松寺は師範学校となる予定で残されていましたが、現在の市役所の近



くに建てられることになり、残されていた建物や仏像や祖先の木牌を守らなくてはならないという訴え状です。残されたものを保存するだけではなく、「一寺の名を遺すのでなければ、末永く保護を続けることはできません。まず寺号を復興し布教を専らにし、国の恩に報い、また人々を導き、ともに善果を証し、世の安楽の基礎築くことが必要です。その為に伽藍を修繕し、清衆（修行僧）を育むことが必要です。その為の共有盟約状です」と記されています。この書状は明治16年9月11日に裁判所の承認印をいただいています。青龍寺として寺院活動をスタートさせた証です。安達達淳師や署名捺印された皆様の願いを、廃仏毀釈からの復興の願いと、その意義をこの東京上等裁判所に提出された書面にて知ることが出来ます。当時の皆様の願いをもう一度心に刻み、令和

の大改修工事を成就を、私も改めて心に誓っています。

後藤先生レポート 5

・・・ 第5回 全久院歴代住職 ・・・

現在のお寺は、住職の一族が職を継承していくことが普通になっています。明治5年以降に僧侶が妻帯できるようになったことによる変化です。それ以前は浄土真宗系以外の寺では妻帯していなかったもので、住職は師弟の関係で引き継がれていきました。したがって、僧は全国を股にかけて移動することがあり、一寺に留まり続けられない者も多々いました。住職の期間が短期で交代することもあり、また、名前の読み方も漢字も難しく、どのような住職がいたのか知ることもなく来ています。

今回は、全久院の住職についてざっとみることにします(太字は松本全久院関係)。

開山: 克補契巖 永正11年(1514)三河(愛知県)橋上村に全久院を開く

二世: 光国舜玉 天文15年(1546)三河鍛冶村に全久院を移して開山

三世: 快屋安哉 四世: 九峯恕珊 五世: 香山淳積 六世: 喜州定悦

七世: 晋嶺淳堯 戸田康長に従って松本へ全久院を移す

八世: 特雄専英 明石(兵庫県)へ移る

九世: 天外梵舜

十世: 敷山雲外 加納(岐阜県)へ移る

十一世: 鐵心道印 美濃の智勝院(戸田家の藩主の墓がある)の開山

十二世: 南針宗頓 十三世: 了然玄超 十四世: 天桂永澤 十五世: 丹嶺祖衷

十六世: 廓湛智亮

十七世: 天雪大英 淀(京都府)へ移る。鳥羽(三重県)へ移る

十八世: 鐵舟宗海

十九世: 大園牛道 松本へ再び移る。以下は松本全久院の住職

二十世: 梅巖陽本 二十一世: 明極即証

二十二世: 是妙不傳 叢林(最高の修行道場 全国9か寺の一つ)となる

二十三世: 大店鰲雪 二十四世: 田翁耕園 二十五世: 提山見全

二十六世: 海外亮天

二十七世: 瑞岡珍牛 「永平高祖行状記」を出版

二十八世: 佛海天龍

二十九世: 提宗元綱 寺が類焼し再建

三十世: 大覚素童 三十一世: 無学頓了

三十二世: 雲生洞門 戸田家廟園に前山寺を開山

三十三世: 吉丈足雲 前山寺二世兼

三十四世: 雪巖棟門 前山寺三世兼

三十五世: 巨海意龍 廃仏毀釈により出雲崎に移り、現地に全久院を開く

廃仏毀釈ののち再建した全久院の住職

再興開山: 栴崖奕堂(諸嶽奕堂 本姓: 平野) 總持寺独住一世 勸請開山

二世: 玉翁達淳(安達達淳) 再興開闢

三世: 観嶺(圓山)達音 四世: 大俊元機(置津元機) 五世: 潮海良音(鈴木良音) 六世: 大英俊機

(倉科俊機) 七世:大興俊勝(倉科俊勝) 八世:大徹利行(倉科利行 現住職)

以上は主に平成21年に出された『信州松本 青龍山全久院史 松本城主戸田様の歴史』から作成しました。全国的に著名な人物もいます。その業績はこれから徐々に明らかにしていかななくてはなりません。

(後藤 芳孝)

今年のお盆は？

旧本堂で行われる最後の施食会となります。そこで旧本堂に「あばね、またね」との気持ちを込め、新本堂を迎える記念の行事を行いたいと思います。6月のお茶会には「あばね、またね」の気持ちを込めて茶会を開催したところ、多くの檀家様に一服の茶を楽しんでいただきました。施食会では「あばね、またね」コンサートを開きたいと思います。10時半よりバザー、12時より沖縄、12時半より全久院うたの会、13時15分より「お気楽ボーイズ」のバイオリンとチェロのアンサンブル、というコンサートです。お塔婆をお配りしてお帰りにはお赤飯をお持ちいただきます。

施食会 **施食会の日程** 皆様にお配りする施食旗の封筒の説明書きは例年のものです。今年のお盆用ではありませんので、全久院報の記事の説明をご参照ください。

8月5日(火) 10時30分 バザー

12時 あばね、またねコンサート

14時 施食会法要

15時 お塔婆を配ります (檀家の皆様にお赤飯をお配りします)

参会者の皆様へ

- ・大変暑い日が続いています。今回の工事でエアコンを付けますが、今年はまだ冷房ができません。冷たい麦茶を用意します。体調にお気をつけてお越しください。

棚経 お盆の棚経では例年どおり、以下の三つの方法にて棚経のご対応をお願いいたします。

- 1、以前のとおおり、仏間で、仏壇や盆棚に盆飾りをする。
- 2、棚経のお参りに行く日の時間帯に玄関先へ盆飾りを出して、お寺が家に上がらずにお参りできるようにする。(右の写真は玄関先盆飾りの例です)
- 3、お盆参り、今年は断る

以上三つの方法を考慮いただき、3番をご希望の方はお盆の前に電話などでお知らせください。

塔婆の配り方 後日お塔婆を取りに来られる方は

- ・塔婆の棚を玄関に出しておきます。各自ご自分で探してお持ち帰りください。
- ・お盆費用をお持ちくださり、お支払いいただく場合は、チャイムを鳴らし、寺の者をお呼び出してください。

施食会にて「あばね、またねの会」と、護持会総

例年でしたら施食会にて「全久院令和の大改修」に関して進捗状況を報告し、皆様から質問やご意見を頂戴していましたが、いよいよ本堂の改修工事を始めるに当たり、護持会総会を施食会と切り離して開催したいと存じます。

施食会当日の日程は前欄のとおり、

8月5日(火) 10時半恒例のバザー。12時より「あばね、またねコンサート」、ティダ・タンタン(沖縄ポップスぐるーぷ。12時半より全久院うたの会(花かんざし)と大黒のソロ。1

3時15分より音喜楽 boys(オキラクボーイズ)コンサート。14時より施食会法要、15時よりお塔婆配布となります。（詳しくは後頁の掲示板のコーナーをご覧ください）

護持会総会にて、「全久院令和の大改修」工事の経過を報告いたします。例年は施食会で開催しておりましたが、法要などの時間に縛られたり、平日で皆様に参加できないと考え、**8月24日（日）11時より臨時護持会総会を開催し、中間決算報告と、本堂改修工事の説明**をいたします。多くの皆様にご参加いただき、ご意見頂戴できたらと思います。

お盆参りのお知らせ

お盆参りの予定を次の表にしましたのでご覧ください、ご準備をお願いします。本年も副住職俊浩が松本市の南半分を回り、私が北半分を回ります。毎日80軒前後の軒数を回ります。朝7時半から夕方7時ころまで回ります。事前にお配りする、盆旗を入れた案内の封筒に記入した期日と時間どおりにお参りがなかった場合は、電話などでお問い合わせください。今年の予定は下記の表のとおりです。

8月	住職の回る範囲	副住職の回る範囲
10日	安曇、明科、麻績など超遠方	安曇、明科、麻績など超遠方
11日	並柳、寿、塩尻、村井、平田、など市外南部	笹部、征矢野、南原、石芝、二子、笹賀、神林、石芝、など市外南部
12日	筑摩、神田、山辺、惣社、横田、大村、元町、原、岡田など市外北部	宮田、高宮、南松本、荒井、新村、波田、桐、沢村、蟻ヶ崎、城山など
13日	源地、日ノ出町、県、西小松、清水、県、四谷、女鳥羽、下横田など市内北東部	宮村、埋橋、筑摩、庄内、本庄、東中条、豊田町、南新町、井川城、など市内南部
14日	裏町、片端、下横田、女鳥羽、旭町、元町、横田、美須々、浅間、北深志、沢村、田町、上土、六九など市内北西部	井川城、鎌田、本庄、博労町、天神、宮村、中町、小池町、飯田町、高砂町、島内、蛇原、
15日	丸の内、蟻ヶ崎、城西、宮渚、城山、新橋、島内などと、留守だったお宅、	島立、白板、渚、巾上、伊勢町、国分町、留守だったお宅
16日	留守だったお宅	留守だったお宅

盆棚の飾り方

右の写真は松本地方の伝統的な盆棚の飾り方です。それぞれの家によって代々伝えてきた飾り方を大切にして、お盆をお迎えください。また下記に一般的な飾り方を示しますので、飾り方の不明な部分はどうぞ参考にしてください。

1、棚を作る場合（右の写真参照）

上の段に本尊様、（本尊様は仏壇の中に入れ、盆中は扉を閉じておくというお宅もあります。その家のやり方を尊重してください。）お位牌、塔婆を奉る。お位牌は古い順に、向かって右、新しいものは左へお祀りします。2段目には供物をお供えします。お供物には二種類あります。水（お茶）、食（お膳、果物、菓



子、嗜好品) などです。3 段目に過去帳、花、燭台、線香立て、鐘、マッチや火消しや線香入れなどの道具をおきます。

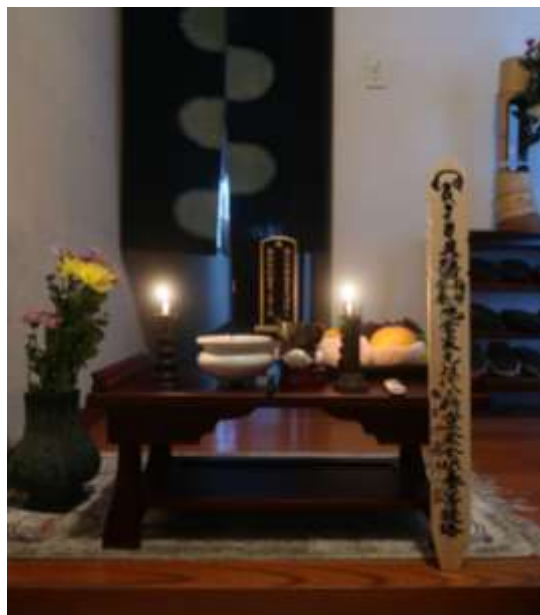
2、仏壇を使う場合

仏壇は常のとおり祀る。仏壇や、手前に経机や机を出すお宅は机の上に、過去帳や花や鐘などを飾る。その他灯籠や飾り花、いただいた供物などは写真のとおり適所に飾る。



3、玄関先に飾る場合

玄関先に手ごろな机を出し、お位牌・燭台・線香立て・鐘・供物をお飾りする。感染症の心配はないかと思いますが、念には念を入れとお考えの方はこんな方法も良いかと思います。



またお寺が配る五色の盆旗は、写真のように広げて糸などを通して吊るか、棚に広げておいてください。お飾りの方法の一例です。ご先祖様をお迎えするという気持ちをこめて、その家に伝わった方法で飾っていただくのが大切なことと思います。

全久院の集い

全久院では、座禅会・御詠歌の会・観音講・うたの会、表千家茶道稽古などの会を行っています。今回は座禅会の内容をお伝えします。

坐禅会 . . . 七十則「進山問性（しんざんもんしょう）」 . . .

この則は、進山主と脩山主という師弟間の問答です。「筍は柔らかくておいしく食べれるが、樽を絞めるタガにはなれない。筍が育って竹になると食べられないがタガになれる。この違いはなんだ？」との問答です。それに対して師は「彼方の方は監院房（総務部）、此の方は典座房（料理部）」と答えました。典型的な禅問答ですね。答えになっているのでしょうか？

竹の子は竹縄として使うことはできないが、季節の美味しい食材にはなる。逆に竹は竹縄にはなるが食材にはならない。竹の子の時節には竹の子の働きに徹し、竹縄になったら竹縄の働きに徹する。竹の子であった過去や、竹縄になる未来を持ち出したり比べたりして論じてもしようがない。刻々に変化する今の働きに徹せよという教えです。過去や未来に縛られていると、あの時は良かった、あの人は自分より幸せそうだ、などなど、不安ばかり生じてきます。現在ただ今の自分ではなく、他とばかり比較して不安になっているだけです。水を冷やし始め時間が経つと氷になります。氷は時間が経つと水になります。本質は変わらないのに、水は水の働きがあり、氷は氷の働きがあるのに、其のままで良いのに、自分の事となると現在ただ今の自分を真っ正面から見つめることが出来なくなります。そこに迷いが生じ、自分だけが不幸だと思い込んでしまいます。監院寮とか典座寮とかフラフラせず「今日只今の働きに徹して生きよ」の一句を示しています。「今が病気であろうと失敗であろうと、そのことに姿勢を正して立ち向かうより他に道はな

いのである」と青山俊董師の結びの言葉が心に残ります。

大黒コーナー … オペラ ルチーア…

「オペラを楽しむ会」、第12回公演オペラ ドニゼッティ作曲『ランメルモールのルチーア』

が4月19日（土）、20日（日）14時より、まつもと市民芸術館主ホールにて行われました。



今回上演いたしましたオペラは、ドニゼッティの最高傑作であり、ベルカントオペラの最高峰とも言われ、それだけにその演奏は困難極まりないものとなっています。しかしこのオペラのもつ美しすぎるとも言われる音楽を、是非日本のオペラファンの皆様にお届けしたいという思いから、歌手、合唱、オーケストラ、助演、ダンサー、スタッフたちが一丸となって取り組み、何とか上演に漕ぎつけました。

今回の公演には一日目261人、二日目416人の皆さんに来て感動を共にしていただきました。また、今回初めて合唱に参加されたメンバーから「すごく練習が楽しいです」と感想をいただいています。これからも長いお付き合いの予感があり嬉しいです。また、オケと歌い手との第一回目の合わせの時に嬉しいコメ



ントを皆さんから頂きました。「楽器だけだと単調に思えた曲が、歌を合わせると壮大な音楽に変化します。無茶苦茶楽しい！！」オケも乗ってくると歌い手もより乗ってきてお互いに息遣いを感じながら、指揮のもとで音楽を創っていく作業は至福の時でもあります。ソリストとしての私は、ルチーアに要求される、繊細な喜怒哀楽に富んだ表現を追求しつつ、その時々に使われている美しいコロラトゥーラの音型やメロディーはなお一層響きのポジションに気を付けて呼吸法とともに稽古して来ました。この声の響きが今回は20数人編成のオーケストラと絶妙なハーモニーを生み出すことができま

した。これからもオペラのすばらしさを皆様にお届けしたいと存じます。

総監督の澤木先生は、「イタリアオペラは歌手の感情による音の伸び縮みが激しく、何回も稽古してそのうち慣れてまとまってくると思います！！」と、初めてオケに参加される方にも伝えられました。まさにそれがオペラの醍醐味ですね。

「オペラを楽しむ会」は、ベル・カントの技術を持つ歌手を一人でも多く育てる他、イタリアオペラの雰囲気をご堪能いただき、感動いただける舞台をソリスト、合唱団、助演、ダンサーの出演者、スタッフ全員が一つになって創り上げていきます。

また、コロナ禍を過ぎると、お客様にも変化が現れ、お客様の高齢化が進み、オペラファンを増やしていくには、なかなか難しい面があります。一度観ていただいたお客様にはとても良い感想をいただきます。例えば「喋るように歌っていて、物語もわかりやすく、すべて良かった。」などです。今後も日頃からコンサートなどを通じて、オペラの良さを知って頂こうと努めてまいりたいと存じます。

(倉科京子)

茶道コーナー

恒例の茶会は9月より本堂の改装工事に入るため、本年は6月8日(日)に開催しました。旧本堂の「あばね、またね企画」の一環で檀家の皆様にも来ていただき、例年より30人程多い162人の茶会となりました。立礼席は鉄瓶や焼き物の壺、井戸の釣瓶(つるべ)などを取り合わせた、茶道具以外の道具を取り合わせた、道具立てを楽しんでいただく趣向の席としました。また干菓子器には兼中斎喜寿記念干菓子器「月に日に待つともなしに喜寿かな」との裏書きに、先代が「お経にお茶で半年暮らす 後の半年寝て暮らすで 喜寿になりけり」とひょうきんな返歌をした器を使い、笑いに満ちた席となりました。薄茶席はでは総代の縣様から寄進いただいた、人間国宝の浜田庄司作の茶碗で一服差し上げました。この茶碗は先代の縣芳郎様が富山連隊の戦友から頂いたものとのことで、堀内兼中斎より「面影なお消えやらず戦人(たたかいびと)との箱書きをいただいたものです。戦後



80年、不戦の思いを込め使わせていただきました。形どおりの茶会に全久院らしさを取り込んだ茶会ができるよう学んでゆきたいと思っています。



掲示板

(皆様のご参加お待ちしております)

(お寺の都合により予定変更があります。寺に連絡して確認しながらご参加ください)

～施食会～

8月5日(火) 10時30分 能登半島地震被災地支援バザー、持ち帰るのに便利な風呂敷や紙袋など持ち寄ってお越しく下さい。12時 「あばね、またねコンサート」ティダ タンタン(沖縄ポップス、沖縄好きで集まったグループ、全久院の檀家様がメンバーです)。12時30分 全久院うたの会(花かんざし)と大黒。終戦80年、不戦の思いを込めての選曲。またサラ・ブライトマンのTime To Say Goodbyeなどを歌います。今の世界から希望に満ちた新しい世界へ出港しようという意味の歌です。本堂の改修工事を思っの歌となります。13時15分 音喜楽 boys(オキラクボーイズ)コンサート(右の写真)。軽妙なトークで松本でも評判のバイオリンとチェロのデュオです。14時 法要、15時 お塔婆の配布。今年も、改修工事のため、食事、お説教はありませんが、お塔婆をお渡し後にお赤飯をお持ち帰りいただきます。なお7月に前もってお配りする施食旗の封筒の説明書きは例年のものです。今年のお盆のものではありませんので、「全久院報」の記事の説明に従ってください。



～臨時護持会総会～

8月24日(日) 11時より臨時護持会総会を開催し、中間決算報告と、本堂改修工事の説明をいたします。多くの皆様にご参加いただき、ご意見頂戴できたらと思います。

．．． 座禅会 ．．．

8月はありません・9月13日(土)・10月18日(土)・11月22日(土)・12月13日(土)。以上が下半期の日程です。毎回夕方4時集合、4時40分まで青山俊董師の市民タイムスのコラム「従容録」を住職が解説し、5時45分頃まで座禅、6時まで茶話会という予定で行います。座禅を経験していただくだけでなく、ものの見方や生き方を豊かにすることができると思います。ぜひご参加ください。

．．． ご詠歌会 ．．．

8月はありません・9月10日(水)・10月22日(水)・11月12日(水)・12月10日(水)午前10時30分より12時まで、白板 東昌寺住職 飯島恵道師にご指導いただきます。一緒にいかがですか。また、ご詠歌を始めたいという方に大黒が初心者コースを担当します。ご希望の方はぜひご連絡ください。

．．． 観音講 ．．．

毎月17日 10時から12時半まで行います。内容は10時から観音様にお勤めと住職の話し、10時40分からご詠歌、11時20分から大黒の指導で唱歌の合唱12時より茶話会という日程です。現在15人ほどの参加者があります。気よりも良く60代から80代の方が元気に集まってきます。気楽な会ですのでぜひご参加ください。17日が土・日曜日に当たる場合は日をずらしますので、寺に確認ください。

．．． 歌の会 ．．．

8月6日(水)・8月20日(水)・9月1日(水)・9月24日(水)・10月1日(水)・10月15日(水)・11月5日(水)・11月19日(水)・12月3日(水)・12月24日(水)

午前10時より12時まで、お茶休憩をはさみ大黒が指導します。発声練習をして、唱歌、童謡、懐かしい曲など一緒にいかがですか。また、ハーモニーを付ける曲もあります。他の催しへの参加なども企画しています。音楽を通した楽しい友達もできますよ。お待ちしております。

．．． 表千家茶道稽古場 ．．．

月曜日 13時から、水曜日 18時から、金曜日 18時半から、土曜日 13時から稽古を始めます。その30分前から炭火を入れるなどの準備を始めますので、準備が整い次第稽古を始めます。先代が稽古を始め、2～3週間ごとに掛け軸や道具が変わります。四季折々季節に合った道具に変えながらの稽古となります。参加できる曜日を決めていただき、一月に4回の稽古です。月謝は5000円です。興味のある方はどうぞ一緒に稽古をしてみませんか。

．．． 全久院 ホームページ ．．．

<https://zenkyuin.or.jp/>

全久院ではホームページオを開設しています。「全久院報」をネットで見ただけのようにしてあります。管理をしてくれている檀家の丸山耕一さんと親しみやすいものにして行きたいと考えています。また、皆様と意見や情報を交換できる場に育てて生きたいと思います。ぜひ一度開いて見てご意見ください。

．．． 全久院 インスタグラム ．．．

zenkyuin

令和の大改修もいよいよ本堂の工事に入ります。工事の経過など写真も含めて皆様に最新情報をお届けしたいとの趣旨でInstagramを始めます。その他の全久院の行事等の情報も流しますので是非ご覧ください。わたしもスマホやパソコンの使い方が不得手で、なかなか馴染めませんが、Instagramのアプリをダウンロードして、Instagramを開き、検索マークをクリックし、zenkyuin を入力してください。あるいは右のQRコードを読み込んで全久院のインスタを開きください。宜しくお願いします。

